

## 連載＝四国八十八ヵ所めぐり

### 「歩き遍路の旅」6

会員 樋口俊介

#### 修業の道場（土佐の国） その2

24 番(最御崎寺)～39 番(延光寺)合計 16 ヶ寺  
(高知県)

海を眺め、空を仰ぎ、ひたすら前へ。室戸・足摺の2つの岬を廻り、16札所を拝の旅へ、歩き遍路には遙かな道のりの道場だ！！

23 番札所(薬王寺)に参拝したあとは、およそ80kmかなたの室戸岬へと遍路の道をたどることになる。

当日に歩くお寺に関する由来とか伝説等の内容を分かる範囲で説明をします。必ず最後まで歩き通します。

## 第14回

### 平成21年6月6日(土)聖地・室戸岬に行く (三津～25番 津照寺)

歩き(ウォーキング) 遍路 札所2ヵ所  
約16km

#### 24番(室戸山)最御崎寺

所在地＝高知県室戸市室戸岬町 4058-1  
電話＝(0887) 23-0024

宗派＝真言宗豊山派  
開基＝弘法大師  
本尊＝虚空像菩薩

○弘法大師が19歳の時、三教指帰の悟りを開いたといわれる有名な修行の地。

室戸岬で修行を終えた時から「空海」を名乗るようになった。また大同2年に唐から帰った大師が、再びこの地をおとずれ開基した。

#### ◎ 虚空像菩薩について

大地と慈悲の地藏菩薩と並んで信仰があり。福と地を無限に持ち、空と智慧を象徴する菩薩として信仰される。

#### 25番((宝珠山)津照寺

所在地＝高知県室戸市室津 2652-イ  
電話＝(0887) 23-0025

宗派＝真言宗豊山派  
開基＝弘法大師  
本尊＝楫取地藏菩薩

○大同2年、弘法大師により開基。漁業の安全と豊漁を祈願し、楫取地藏菩薩を刻んで本尊として安置した。山門から本堂の途中に朱塗りの鐘楼門があり、「仏の灯台」とも呼ばれ、この寺の象徴としてたしまれているそうです。

#### ◎ 楫取地藏菩薩について

弥勒菩薩が出現するまでの間、生前の因業によって、天上から地獄まで六つの世界に分けられる衆生を救済するという。

#### 筆者紀行

5時に起床し5時55分に車で駐車場まで歩いてローソンへ、半田さんの車に便乗し林原駐車場へ着きバスに乗り換え6時40分に出発し、倉敷を經由して児島、豊浜SA、南国ICで下りて前回の歩き終えた三津まで、トイレ休憩等を含めて約4時間30分かけて到着し、11時15分頃から歩き始めてすぐに二つの洞窟があった。

向かって左側の洞窟が弘法大師が寝起き

したと言われる「御厨人窟」で、目の前には海が広がっている。そして、向かって右の洞窟が「神明窟」。大師がこの洞窟で修行をしていた時に、明けの明星が大師の口に飛び込んできて、自然と一体となり、ついに悟りを開いたと言われていました。こうした大師の秘話に感動しながら、中に入ると何か不思議な神秘的なパワーを感じる場所でもあります。少し緊張しながら般若心経を。



御厨人窟



神明窟

外に出たら、空の明るさと海の青さにホッとしました。室戸岬まで歩き終えた所で、少し見学し昼食を室戸で11時50分～12時35分間に済ませます。

12時40分から歩き始めるも少し雨が降り出す。目的地の「最御崎寺」に向かうも札所のお寺はけっこう山の上にあることが多く山門までいくつもの上り坂をクリアして、700mの上り坂で森の中を登ってやっと山門にたどり着き、24番札所の本堂、大師堂でお参りをすませ、宝物館には数々の寺宝が保管されていて、少しだけ拝観する。



四国 24 番東寺 最御崎寺

さあ次は25番札所「津照寺」までは約6.5km、雨も上がり気持ちも新たに元

気を出して歩き、途中でトイレ休憩等を取り1時間35分で到着する。地元では「津寺」と呼ばれ、親しまれているお寺だそうです。本尊のお地藏様は別名「楫取地藏」と呼ばれているのだが、これは慶長7年(1602)、土佐藩主の山内一豊公が暴風雨のせいで室津沖で難破しかけたときに、一人の僧があらわれ舵を取ってくれ、無事に帰ることが出来た。そして翌日、この寺をおとずれると本尊の地藏菩薩がびしょ濡れだったという。そこから「楫取地藏」とよばれるようになったそうです。本堂、大師堂で念入りなお参りを済ませる。本日の予定の16kmを17時20分に終わり17時35分にバスで一路岡山へ南国IC、豊浜SA、早島IC、倉敷を經由し林原駐車場には22時20分に到着した。あと電車で我が家には22時50分に帰宅する。

足も痛く疲もあるが気分は爽快です！感謝！ **なお本日の歩数(24,918)歩でした。**



第 25 番楫取地藏菩薩 津照寺

## 第15回

### 平成21年7月4日(土)土佐修行の道を行く (25番津照寺～吉良川大橋)

歩き(ウォーキング) 遍路 札所1カ所  
約12km

## 26番(龍頭山)金剛頂寺

所在地＝高知県室戸市元乙523

電話＝(0887)23-0026

宗派＝真言宗豊山派

開基＝弘法大師

本尊＝薬師如来

○金剛頂寺を「西寺」最御崎寺を「東寺」と称し、以前は女人禁制の霊地だった。本尊の薬師如来は毎年12月31日から1月8日まで御開帳されている。24、25、26番札所は、あわせて「室戸三山」と呼ばれている。なお宿坊があるが要予約が必要です。

### ◎ 薬師如来について

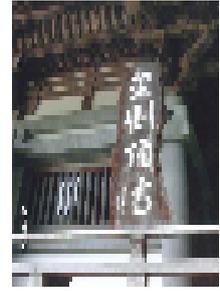
人間の病苦を癒し心の苦悩、厄を取り除くなど12の誓願をあらわす如来で、四国霊場にはいちばん多く祀られている。

### 筆者紀行

5時15分に起床して5時55分に駐車場へあと歩いてローソンにて、半田さんの車に便乗し駅前の林原駐車場に6時25分到着する。バスは6時41分に出発し倉敷に7時10分に18名を乗せ児島ICで2名で当日の参加者は総数38名で、豊浜SAでトイレ休憩を行い南国ICで下りて前回に歩き終えた津照寺で下車し、歩く前の準備体操を軽く行い当日の行動内容の説明を受けて11時40分から歩き始めて約1時間歩いた所で厄払いをしながら登っていく厄坂の階段を上がり金剛頂寺に着き気持ちを静めて本堂と大師堂でお参りを済ませ、バスで移動して近くのお店で昼食をする。

再度バスで昼前に歩き終えた所まで、13時50分から当日の目標に向かって歩き出す。この寺の霊宝殿には、大師の金銅旅

檀具、朝鮮高麗時代の銅鐘、平安末期作と



金剛頂寺に向け運路路を歩く 四国26番西寺金剛頂寺

いう木造阿弥陀如来坐像、白鳳時代作という銅像観音菩薩立像、鎌倉時代作という真言八祖像などがたくさんの仏像が納められている。今回は拝観出来なかったが次回の楽しみにします。

またここ金剛頂寺には、弘法大師と天狗が問答したという伝説が残っており、門前には「弘法大師天狗問答」と刻んだ石碑が建っている。なお本堂の中には沢山の仏像が鎮座している、弘法大師が彫られたという本尊は秘仏で毎年12月31日～1月8日のみ御開帳されている、大師堂の中に納められている弘法大師像も毎年3月21日のみ御開帳です。

事前に予約しないとできない事や日時に合わせなければ拝観できない事などありましたが、いろんな貴重品、大切な重要文化財等がたくさんあること知りました。約4Kくらい歩いてトイレ休憩するが特に疲れや足の痛みなど感じない、なぜ今日は、特にいろんな事を教えて頂き少し物知りができ悦になった様な気分になった？

しかし11Kくらい歩いた所で汗も出るし膝のほう少し痛むがあと2Kくらいで本日の目標に近づく、その時に自転車通学で帰宅途中の女子中学生と思われる3人がすれ違いざまにご苦労さん頑張ってと言いながら通り過ぎた何と気分の好い事、その言葉でいっぺんに疲れが吹っ飛びました。感謝感激有難う！！

吉良川集落を通り抜け16時20分に今

日の目的地の吉良川大橋に到着する。川には小船が二艘ゆっくりと疾走していた。

16時30分バスで帰路岡山へ豊浜SAトイレ休憩し児島IC、早島IC、倉敷経由して林原駐車場に20時45分に我が家には21時30分に帰宅する。皆さんに感謝！有難う！ **なお本日の歩数（20.521）歩でした。**



**長い長い海岸線沿いの道**

## **第16回**

### **平成21年9月5日(土)土佐浜街道を登る (吉良川大橋～東谷)**

歩き（ウォーキング） 遍路 札所0ヶ所  
約20km

#### **筆者紀行**

5時10分に起床し準備、朝食等を済ませ5時54分車で駐車場へ歩いてローソンへ半田さんの車で林原に6時40分バスが出発し、倉敷に7時50分を経由し児島ICで3名の方を乗せ豊浜SAでトイレ休憩を南国ICで下り、目的地の前回歩き終えた吉良川大橋にバスは走る、途中の田野駅（道の駅）で買い物とトイレ休憩を行い（11.03～11.15分）11.25分に到着した。

約10分間の準備運動をして11時35分から歩き始める。今日の歩きの目標は約20kmです、気持ちを引き締めて歩き始めるが蒸し暑い海岸線をずっと南に歩いてきたが、室戸岬で北西方向に折り返し、ここからまた、長い長い海岸線沿いの道が続き歩いても歩いても同じようなところに感じます。時々変化を求めて砂浜を歩くが前にも書いたように意外と歩き難く疲れる感じがします。潮風に当たり白波の大小をまじかに見て水平線を眺めながらの歩きは最高に贅沢に感じ足の痛さや疲れは忘れてしまいます。

しかし寺の近くに成ると高知には海辺の高台の札所が多くて、険しい山道を何度も登り下りします。吉良川町の白壁の美しい町並み（吉良川の 白さまばゆき 春の空）を通り過ぎ羽根まで約2時間歩いて13.35分頃に到着し、そこからバスで奈半利まで行きレストランで昼食を済ませ再度バスで羽根まで帰り、14時10分から歩き出し奈半利の町を通り田野の繁華街を抜け安田まで、途中で2回トイレ休憩を挟み目的地（東谷）には17時20分に到着する。今日の目標の20kmを約5時間10分くらい掛けて歩く。

足には豆が出来、膝も痛いし腰もと思うが達成感の方が優越して気分爽快の方が勝り気分良くして17時30分バスで帰路に南国IC豊浜SAでトイレ休憩して児島、早島ICで下り倉敷に20時30分林原駐車場に21時20分に到着して、あと半田さんの車で我が家に22時03分に到着する。**なお本日の歩数は（29.493）歩でした。**

今日も怪我も無く無事で歩いて有難う！！みんなに感謝、家族に感謝！！身体に感謝！

## **第17回**

**平成21年10月3日(土)土佐の関所寺、神**

## 峯寺へ登る（東谷～安芸川橋）

歩き（ウォーキング）遍路 札所1ヶ所  
約17km

### 27番（竹林山）神峯寺

所在地＝高知県安芸郡安田町唐浜2594  
電話＝（0887）38－5495

宗派＝真言宗豊山派 開基＝行基 本尊＝十一面観音菩薩
----------------------------------

○「土佐の関所」といわれる霊山。行基が十一面観音像を本尊として刻み、神仏を合祀。大同4年に聖武天皇の勅命により、弘法大師がこの地にとどまって伽藍を建立し、神峯寺と号して27番の霊場に定めたそうです。

#### ◎十一面観音菩薩について

観音菩薩は姿を変えて衆生の願いに答えてくれるという。多くの面は、救済の多様性を表している。

#### 筆者紀行

5時05分に起床して、5時55分に車で駐車場へ歩いてロウソンで友達車で林原に、6時38分に到着しバスに乗り換えた。今日の参加者は37名とスタッフ3名、運転手で6時44分に発車し倉敷を経由して早島IC、児島IC、豊浜SAでトイレ休憩をする。

前回に歩き終えた安田町には10時43分に着き、準備運動を軽く行い10時55頃から歩き出す。今日お参りする神峯寺は標高632mの神峯山の中腹、海拔450mあたりに位置し「真っ縦(まったて)」といわれる、山頂までの一気の上り坂45度の急勾配は別名“遍路泣かせ”今まで訪れた中でも1番の難所で、「遍路ころがし」と呼ばれている。

歩き出して約1時間30分かけて山門（立

派な仁王像が安置されている）に到着したが、とにかく大変でした。修行の道場だと言われる通り、すこし登り直ぐに足がすべり下がるを繰り返し前へ上へ、皆で六根清浄を唱えながら前の人をカバーしての連帯意識を持ち何とか登り、視界が開ける場所で振り返ると、今まで歩いてきた道、越えて来た山が遠くに見える。あんな所から歩いてきたんだ～と思える瞬間です。かくして歩いた者しか味わえない爽快で山門に着いたときの気分は清々しく最高でした。



難所の「遍路ころがし」を歩く「真っ縦(まったて)」を上がり  
第27番神峯寺

左に納経所、右に鐘楼があり、鐘楼の裏手に湧いている石清水は別名「神峯の水」ともよばれており、今でも、この霊水を求めてやって来る人も多いという。私もひとくち飲んで見たが、とても身体にいい感じがした。

先達さん以下の37名で御参り（大変迫力がああります）を済ませ、トイレ休憩等して境内で各人が適当な所で弁当を食べ下山しますが、13時20頃から歩き出すも、下りも大変です私は2回も滑って転げましたが、何とか無事で下りることが出来ました。

唐浜の町並みを通り“男はつらいよ”平成8年映画の高知ロケ予定地に寅さん地藏やカラーの寅さん等の説明文や看板が周囲に整備されていた場所で休憩して、大山岬で景観をゆっくりと堪能して、当日の目摘地の安芸川橋には17時25分に到着し、本日の目標の約17km（中味の濃い歩き遍路でした）を歩き終えた。

## 寅さん「男はつらいよ」のロケ地



## 寅さん地藏



17時34分に岡山へ南国ICで入り豊浜SAで買い物、トイレ休憩を済ませ児島IC、早島ICで下りて倉敷を經由して林原駐車場に21時23分に到着し、半田さんの車に便乗して我が家には22時03分帰宅する。なお本日の歩数は(27.863)歩でした。

本日も無事で帰れて足には豆が2個もでき腰も痛い、何か体の中に風が通りぬけた様な感じがして疲れが飛んでしまい、気分が晴れ晴れとなる不思議な瞬間を味わう！！

皆に感謝！！家族に感謝！！身体に感謝！！ありがとう！！

## 第18回

### 平成21年11月7日(土) 白浜の浜に沿って歩く(安芸川橋～赤岡橋)

歩き(ウォーキング) 遍路 札所0ヶ所  
約23km

## 筆者紀行

5時15分に起床して5時55分に車で駐車場へあと歩いてローソンで、半田さんの車に便乗して林原駐車場に6時20分到着し、バスに乗り換え6時41分に発車して倉敷を經由して早島IC、児島IC、豊浜SAでトイレ休憩して、前回歩き終えた安芸川橋に10時47分に到着し、軽く準備運動と当日の行程等の説明を受け11時02分から歩き始める途中で遍路道をちよっと外れて海岸を歩く、「黒潮洗う」という言葉がぴったりの高知。太平洋は雄大で、時に荒々

しく、時に穏やかに静まり返り、多彩な自然の表情を見せてくれます。人は、港町が多いから、豪快で飾らない方が多く、皆さん人情味に富んでいます。「がんばって」と声をかけてくれ、それが励みになり元気がでます。

安芸市には田園のなかに立つ野良時計、武家屋敷など風情のある町並みが残り、また土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の電車(黄色)の走りを眺めながらの歩きは心が安らぐ。

赤野まで約14kmを歩き、そこで昼食(50分)を済ませて、再度歩き初めて手結港の巨大な可動橋を(時間がくると車が通れるように降ろされる)遠くに見て、16mもある防波堤(それでも波が越えることもあるとか)の近くを通り過ぎるが人も自然も雄大だ！



太平洋は雄大で高知の  
「黒潮洗う」言葉がぴったり



日本一高い防波堤  
海面より16m

途中に「龍馬歴史館」があったが時間の関係で入れずに、ほうえい橋を渡り川沿いを歩き本日の目標地の赤岡橋まで約23kmを約5時間30分掛けて17時10分に到着する。

赤岡橋を17時20分に出発し帰路へ南国ICに入り豊浜SAでトイレ休憩等をして、児島IC、早島ICで下り倉敷を經由して、林原駐車場に20時45分に着き友達の車に便乗して我が家には21時30分に帰宅する。今日も無事に帰れてありがとう！！

なお本日の歩数は(34.722)歩でした。  
皆に感謝！！家族に感謝！！身体に感謝！！